

## 発電機の安全上のご注意

火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、後述します「安全上のご注意」を必ず守って下さい。また、機体に添付してあります取扱説明書を熟読し、正しい操作でご使用下さい。

### 全般的なご注意

- ①使用現場の周囲の状況に考慮してください。
  - ・発電機の運転を湿ったり濡れている場所で行うと感電の危険があります
  - ・可燃性の液体やガス、または枯れ草など燃えやすいものの近くで発電機を運転しないで下さい
- ②子供を近付けしないで下さい
  - ・作業員以外、発電機に近付けしないで下さい
  - ・作業員以外、発電機に触らせしないで下さい
  - ・作業員以外の方が近づく可能性がある場合は、発電機に触れないように処置してください
- ③指定された用途以外には使用しないで下さい
  - ・重大な事故を引き起こす危険性があります
- ④感電に注意してください
  - ・必ずアース(接地)をして下さい
  - ・濡れた手で発電機を操作しないで下さい
  - ・コンセントにピンや針金などの金属物を入れないで下さい
- ⑤電力会社の配線や他の電源から電力の供給を受けているコンセントには接続しないで下さい
  - ・火災や感電事故の原因になります
- ⑥排気ガスに注意してください
  - ・建物やトンネル、マンホール、井戸、船倉、タンクなどの内部や換気の悪い所で発電機を操作しないで下さい。
  - ・排気ガスがたまらない風通しの良い場所に排気を向けてください。また、建物やその他の設備に排気を向けないで下さい。

### 使用前のご注意

- ①使用前に各部を点検してください
  - ・機体に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください
  - ・部品の破損や電気配線のいたみが点検をして下さい
- ②平らなで安全な場所に設置してあるか点検してください
- ③発電機の過熱に注意してください
  - ・発電機は建物、その他設備から1m以上離して接地してください
  - ・発電機の周りをカバーなどで覆い被せたりしないで下さい
- ④始動する場合は注意してください
  - ・コンセントに電気器具が接続されていないか、またブレーカが遮断されているか確認してから始動してください

### 使用中のご注意

- ①電子計算機類、電子制御式電動工具などの電子制御機器、充電器、医療機器などの精密機器に使用しないで下さい。
- ②無理して使用しないで下さい
  - ・安全に能率よく作業するために、発電機の能力にあった負荷で使用してください
- ③運転中や停止直後はマフラの周辺に触らないで下さい
  - ・マフラの熱で火傷をすることがあります
- ④次の場合はエンジンを停止してください
  - ・使用しないとき、または点検や修理を行う場合
  - ・その他危険が予想される場合

### 使用後のご注意

- ①運転しない場合は燃料コックを閉じてください。
- ②使用しない場合は必ずキースイッチを「STOP」位置にし、鍵のかかる場所へ保管してください
- ③ガソリンやオイルなどは安全な容器に入れて安全な場所へ保管してください

## ～「電気設備技術基準の解釈」が改正されました～ (2005年8月4日～)

### ● 使用者は「随時巡回」で発電機を運転する場合は、以下を遵守すること

#### 第51条

- 2 工事現場等に施設する移動用発電設備であって、技術員が随時巡回する場合は、次の各号により施設すること
  - 一 一般電気事業者が運用する電力系統と電氣的に接続しないこと  
(解説：一般の電気会社が電力供給を行っている電源には接続をしてはならないという事です)
  - 二 取扱い者以外の者が容易に触れないように施設すること  
(解説：発電設備の周囲を安全フェンスや立ち入り禁止の表示板を用いて隔離しなければならないという事です)
  - 三 原動機の燃料を発電設備の外部から連続給油しないように施設すること  
(解説：外部燃料タンクなどの給油設備を接続して使用してはならないという事です)

#### ■ 常時監視

技術員が工事現場場内に駐在し、運転状況を確認する  
\*異常が生じたときに、技術員の迅速かつ適切な措置を期待することが出来る。

#### ■ 随時巡回

技術員が管理上必要な頻度で巡回し、運転状況を監視する  
\*異常が生じたときに、技術員の迅速かつ適切な措置を期待することが出来ない。  
\*24時間工事では注意が必要です